

## 第28回ITER 機構職員募集説明会でのQ&A

### 1. 日時・場所

平成21年9月7日-9日

札幌コンベンションセンター(札幌市)

(第2回核融合/原子力国際ビジネスフォーラム 展示会場)

### 2. 来訪者:25名

### 3. 説明概要:

第2回核融合/原子力国際ビジネスフォーラム(於札幌市)のITER・BA展示エリアにおいて、ITER機構職員募集および登録の案内を行うとともに、フォーラム参加者に資料を配布し、模擬面接ビデオを紹介した。(角館 聡 トカマク本体GL、奥野 清超伝導磁石研究開発GL、杉本 誠 ITER 協力調整GL)。

### 4. 主なQ&A

Q1:現在、公募されているITER機構職員ポストはありますか？

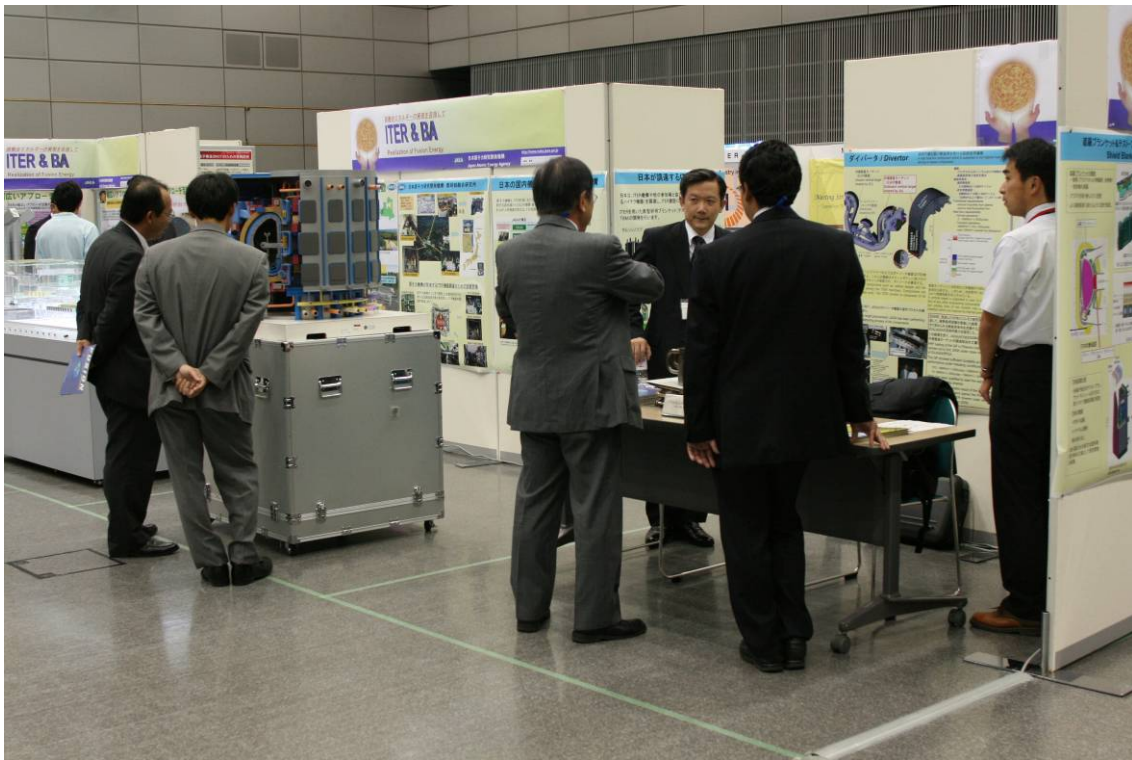
平成21年9月10日現在、計13ポスト(内専門職員7、支援職員6)が公募されています。これらの詳細は、原子力機構あるいはITER機構のホームページをご覧ください。

原子力機構HP:[http://www.naka.jaea.go.jp/ITER/recruit/boshu\\_midashi1.html](http://www.naka.jaea.go.jp/ITER/recruit/boshu_midashi1.html)

ITER機構HP:<http://www.iter.org/Pages/jobs.aspx>

Q2:なぜ、原子力機構がITER機構の職員公募の手続きを行っているのですか？

ITER機構への職員派遣は国内機関を通じて行うことがイーター協定に規定されており、イーター協定発効とともに、原子力機構は、イータープロジェクトにおける我が国の国内機関に文部科学省より指定されています。このため原子力機構は、日本における公募の窓口として、イーター機構による職員公募の事務手続きを支援しています。



核融合/原子力国際ビジネスフォーラム会場(札幌市)の展示エリアの様子